

歴史資料グループだより

第5号

令和2年度の主な事業

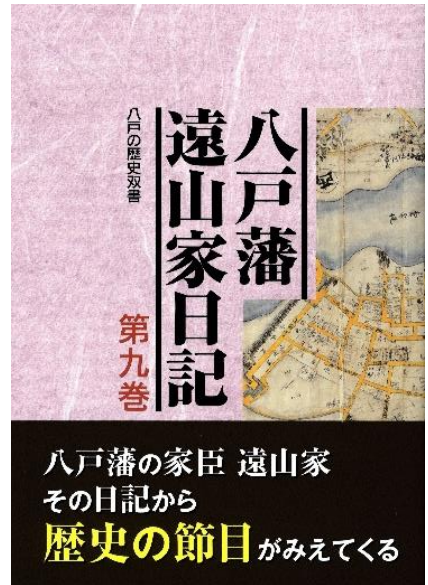
八戸の歴史双書

『八戸藩遠山家日記』第9巻 刊行！！

八戸藩の家臣遠山家の当主が、寛政4年（1792）から大正8年（1919）まで代々書き継いだ日記です。127年もの間書き継がれた日記は、全国的にも珍しく平成28年に県重宝に指定されています。

第9巻は、慶応元年（1865）から明治4年（1871）までの7年間の日記です。江戸時代から明治時代へ変わりゆく社会の中、藩治職制、版籍奉還、廃藩置県といった教科書に載っている出来事を、一士族の視点から書き記しています。

平成から令和を経験した私たちと同じく、江戸から明治へ時代の変わり目を遠山家の人々はどのように見ていたのか、確かめてみてください。



三社大祭クイズ

享保6年（1721）から続く八戸三社大祭は、太平洋戦争末期に一時中断しました。戦後再開しますが、この頃の八戸には、アメリカ進駐軍が滞在していたので、アメリカ兵たちも祭りを見る機会がありました。

さて、アメリカ兵は八戸三社大祭を何と呼んでいたのでしょうか？

- A. Summer festival B. Harvest festival
C. Three shrines festival D. Three temple festival

(答えは裏面にあります)

『八戸市立図書館収集文書目録』第3集 発行

八戸市立図書館・歴史資料グループでは、地域に関する歴史資料を収集しています。収集した資料は目録を作成し、だれでも利用できるように、収集文書目録を発行しています。

今回は令和元年度に寄贈になった資料を中心とした第3集を作成しました。

収録資料の一つを紹介します。山本敏夫氏収集資料には、昭和26年9月の八戸三社大祭をアメリカ軍人が撮影した写真がありました。裏面に年月日、場所、内容などが印字されています。そこでは、「Harvest Festival. Hachinohe, Japan.」と記されており、三社大祭が収穫祭として認識されていたことがわかります。

クイズの答え B. Harvest festival



資料保存業務 「くん蒸」でカビ・虫を撃退

図書館には、江戸時代からの資料およそ7万7千点が保管されています。これらの資料を、後世に伝えていくために様々な工夫をしています。その中の1つが、ガスくん蒸作業になります。

これは、資料を保管している収蔵庫「古文書庫」を密閉し、殺菌・殺虫・殺卵の効果のあるガスを充満させることにより、カビなどの菌や、資料を食べてしまう虫などを殺すための作業です。

図書館では、定期的にくん蒸を行うことで、資料の状態を良好に保っています。



古文書庫の中にガスを送り込む

令和2年度はこの作業のため、5月28日(木)～6月3日(水)まで休館し、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。今後も定期的なくん蒸のため休館となることもありますが、資料を良好な状態で後世に伝えていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。(くん蒸業務は株式会社東日本消毒に委託しました。)

扉を密閉中



※令和2年度の市史講座・古文書解説講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

発行・編集

八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道 2-1

TEL・FAX 0178-73-3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp